

令和元年度『産業振興に向けたにぎわい創出事業』実施状況

⇒地域資源を活用したマーケット・イベントの開催により、区内産業の振興及びまちのにぎわい創出を図ることを目的に、区内全域で社会実験を行った。



写真協力:一般社団法人港まちづくり協議会大阪

八幡屋グランピック(10/14・11/16)
来場者延べ2,000名

ベイクルマルシェ(11/10)
来場者延べ35,000名
(天保山まつりとあわせて)

ミナトdeナイト(12/22)
来場者延べ500名

※3/13・14に予定していた「弁天歌謡音楽祭」(大阪ベイタワーatrium)は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止

港区エリア別活性化プランの位置づけ

港区まちづくりビジョン（平成28年7月改訂）

まちづくりの 5 つの柱

- ①区民主体のまちづくり
- ②安全・安心・快適なまちづくり
- ③健やかにいきいきと暮らせるまちづくり
- ④「子どもの学び」と「子育て世代」を応援するまちづくり
- ⑤訪れたいたい魅力と活気あふれるまちづくり

主な施策

- (1)地域資源を活かしたまちの活性化
- (2)まちの魅力の発信
- (3)築港エリアのにぎわいづくり
- (4)まちづくりに向けた行政資産等の活用

産業振興に向けた
にぎわい創出事業

築港・天保山まちづくり計画（H30.3策定）

西部（大阪港駅周辺）エリア

エリア別活性化プラン（令和 2 年度策定）

東部（弁天町駅周辺）エリア

中部（朝潮橋駅周辺）エリア

地下鉄 3 駅周辺エリアでの社会実験を踏まえ、
港区全体の活性化をめざした施策の具体化に
向けて、「エリア別活性化プラン」の策定へ